

松風平和

令和3年度

那覇市立松島中学校

学校便り [No. 9]

令和3年11月20日(土)

発行責任者 校長 喜屋武浩司

「創立60周年、先輩たちに負けないぞ！」

前号(No.8)で創立60年を振り返っての生徒感想を一部掲載しましたが、多くの素晴らしい感想がありましたので、追加で紹介したいと思います。

- 「先輩方の大きな目標、努力と工夫などがあったから、今の松島中があると思うと、自分も未来の人(後輩)につなげていけるように、もっと学校を大切に考えていきたいと思いました。しっかりと自分のためにも学校のためにも頑張っていきたいと思いました。」
- 松島中学校の生徒だけど、本校の歴史が分からず今日初めて聞きました。体育館も45年前に建てられ当時のまま、また松島中学校の昔の校歌も初めて聞きました。(自分はちょっと昔の校歌の方がカッコいいと思いました。)松島中学校も新しく所々変わると思うけど、松島中の歴史は忘れないようにしたいです。60周年目の3年生(60期生)として、何か松島中学校に恩返しができたらいいなと思いました。
- 文化的なことも運動的なこともずっと優秀だったことを知って誇らしく思えました。私達の”松島中の先輩”は努力家な人が多くいたのだらうと思います。また、体育館や校舎、プール、石碑など、学校の様々なものが長い長い歴史を携えていたことがすごいと思いました。
- 英語の全国大会に出場した人が語った「大切なのは努力と反省」という言葉を聞いて、私はこれからの受験に向けて「努力と反省」をして頑張っていきたいなと思いました。
- 私は毎日、ただただ通っているこの学校には、数えられないほど沢山の努力と歴史の上で成り立っているんだなということを知ることができ、良い機会になりました。私自身もそのようなこの学校で一体何ができるか、諦めなければ得られるものはないかと探そうと思いました。胸を張って松島中の生徒で良かったと言えるような生活を送ってみたいです。

全ての生徒の感想は掲載できませんが、全員が松島中学校に誇りを感じ、さらに発展させたいという強い気持ちを持ってくれました。

「先輩に負けないように、現役もがんばっているよ！」

去る11月18日(木)の5校時、1年5組で国語の授業公開がありました。授業者は濱川尚子先生。

授業は「竹取物語」に出てくる貴公子の中で、「一番誠実な人、一番不誠実な人」をグループの中で意見交換させ、さらに現代に繋がる共通点を考えさせる内容でした。6グループから出た内容は、「位が高い人ほど、人間として何かが欠けている。それは思いやりの心や誠実さ」「身分が低い人はお金がないから努力するしかない」など、お金で解決しようとするのではなく、お金はなくても誠実な心を伝えることの大切さを発表を通して学んでいました。一生懸命に互いの意見に耳を傾け、みんなで問題を解決する姿勢はさすが松中生です。とても誇らしく感じました。

